

第18回伊東市子ども・子育て会議議事録

日 時 令和元年12月16日(月) 15:00~16:15
場 所 伊東市役所 5階中会議室
出席者 委員11名、参与2名、事務局4名

1 開会

2 議題

(1) 第2期伊東市子ども・子育て支援事業計画(案)について

ア 子ども・子育て支援事業計画骨子案作成に向けた説明資料

イ 第2期伊東市子ども・子育て支援事業計画(案)第1章及び第2章

ウ 第2期伊東市子ども・子育て支援事業計画(案)第3章及び第4章

エ 第2期伊東市子ども・子育て支援事業計画(案)第5章、第6章及び第7章

質疑

ア なし

イ 参与 (基本理念について)

基本理念の説明に「子育て環境の整備に努めます」「子育て家庭の支援をより一層充実していくため」とあるが、これらは方針とすべきである。

事務局 再検討する。

参与 (合計特殊出生率について)

平成25~平成29年度合計特殊出生率の発表が遅れている。合計特殊出生率は5年間で見るものであり、平成30年度単年度の数値を記載することは適さない。

事務局 当計画の策定時までには間があるので、掲載できるようなら掲載していきたい。

ウ 委員 (認定こども園の整備と幼稚園・保育園の再編について)

市立幼稚園・保育園の再編について、計画の検討に当たっては、私立幼稚園や民間保育園の状況も考慮して検討するとあるが、どういうことか。

事務局 市全体を考えるには、私立幼稚園や民間保育園の考えも伺いながら公立園について考えていくということである。

委員 民間園において施設を有効に活用しようとする、現在よりも定員が増えることになることについてどう考えるか。

事務局 子供の人数には限りがある。市の全体、全貌を踏まえた上で民間園の意向も考慮しつつ考えていきたい。

委員 抽象的で分かりにくい。

事務局 再編については民間園の意向、市の考えなど様々な角度から慎重に進めていきたい。現時点ではこの程度の表示となる。

委員 子供の人数について総計として捉えているが、エリアごとの子供の人数について把握すべきではないか。

事務局 御指摘のとおりエリアごとの数字についても把握すべきであり、また、保護者が園を選択する理由について、「自宅に近い」から「職場に近い」などにより変りつつある現状を踏まえて検討していきたい。

参与 (教育・保育提供区域の設定について)
前は細かく設定していたが今回は大きく一括りになっている。
「1伊東市における教育・保育提供区域」と「2地域子ども・子育て支援事業ごとの区域設定」の2つに分けてはどうか。

事務局 御指摘のとおり訂正する。

エ 委員 (相談体制について)
子供の発達や問題を抱えている家庭が増えている。支援について相談をしたくても相談窓口に限りがありなかなか受けられない。

事務局 支援が必要な子供、気になる子供が増加していることは把握している。専門職の確保が難しい中、関係部署と連携して体制を作っていくたい。

委員 多胎児が増加している中、支援については事業計画の個々の事業の中で推進していくのか、それとも特化して支援していくのか。

参与 乳児家庭全戸訪問事業では生後2月以内に保健師が母子を訪問し、不安等の相談を受け、各機関に繋げている。また、利用者支援事業(母子保健型)では母子手帳交付時に個々に合った必要な支援について相談に応じている。

事務局 計画書にこういった掲載ができるか検討していく。

(2) 今後のスケジュールについて

今回の修正とパブリックコメントによる修正を踏まえた計画案を次回の当会議に諮ることに決定

4 閉会